

土庄町社協だより

R7.9.1

第95号

社会福祉法人

土庄町社会福祉協議会

小豆郡土庄町甲620

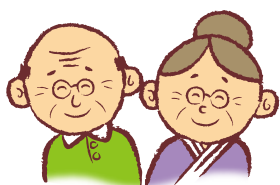
TEL (0879) 62-2700

FAX (0879) 64-5412

にじ



肥土山の虫送り



賛助会員加入のお願い

土庄町社会福祉協議会では、社会福祉の充実と住みよい町を築く為ご協力頂ける賛助会員を募集しております。お互いの幸せのためにお力添えを賜りたいと思います。

主な内容

会長・副会長の 就任・退任のあいさつ	2	中学校 車イス体験（福祉教育）……	6
役員構成	3	大部地区夏祭り（大部分会）	
事業所紹介		あたたかい善意	7
予算・決算	4	職員紹介	
令和7年度 共同募金実績報告	5	サロン活動	8
		表紙の紹介	

会長就任あいさつ



三木 俊明

この度、森川卓前会長の後を受け就任し、行政と共に福祉活動の最前線に立つ社協の役割・責任の重さを痛感しております。

社協は社会福祉法に基づく民間福祉団体であります。

社協の理念は人と人、行政と住民、支援を要する者と支援が出来る者との懸け橋となる事であり、先人方のその思いが社協だより「にじ」の命名に至ったものと思っております。

民間団体であるが故、社協自体は微力であります。しかしながら、行政の福祉に対する認識、住民の皆様のご支援・ご協力が今以上に頂ければ、より良い町、誰もが住みやすく、助け合える福祉の町、「土庄町」に貢献できるものと確信しております。

新たな体制になりましたも社協の理念は不変です。住民の皆様と一番近い福祉活動機関として、職員一同邁進してまいりますので、より一層のご支援ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

退任にあたり



森川 卓

このたび、任期満了に伴い6月をもって、町社協会長職を退任いたしました。在職中は、一方ならぬ御世話になり公務を無事果たせたことは偏に、皆様方のご支援・ご協力と、関係機関のご援助をいただき深く感謝申し上げます。

社協を取り巻く環境は、超高齢社会の急速な進行、また未婚や晩婚化を背景に独居世帯や独居高齢者が増加する傾向にあり、住民相互のつながりの希薄化や社会的孤立が進んでいきます。

こうした町民の要望を満たすにはこれまで以上に町行政や関係機関との連携が必要不可欠になって参ると思えます。

最後に、町内の福祉活動の要として「福祉の町づくり」のため活動を続けている町社協への益々のご援助とご支援をお願いいたし、合わせて在任中のご厚情に対し、厚く御礼申し上げます。

有難うございました。

副会長就任あいさつ



森 英樹

このたび、土庄町社会福祉協議会の副会長を務めさせていただくことになりました。

地域のみなさんと顔を合わせ、笑顔であいさつを交わし、助け合いながら暮らせる町でありたいと、いつも願っています。

これからは社協の一員として、そんなあたたかい地域づくりのお手伝いができればと思っています。

まだまだ分からないことも多いですが、みなさんの声に耳を傾けながら、一歩ずつ取り組んでまいります。どうぞ気軽に声をかけてください。

これまで長く地域で活動してこられた皆様の思いや経験を大切にしながら、次の世代にもつながる福祉の輪を広げて行きたいと思っています。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

副会長就任あいさつ



福本 達雄

このたび、土庄町社会福祉協議会の副会長に就任いたしました。

同時に、教育民生常任委員会の委員長として、福祉や教育の分野で更なる充実を図っていく責任を担うこととなり、身が引き締まる思いです。

現在、私たちの町では、少子高齢化・人口減少や福祉ニーズの多様化など、さまざまな課題に直面している中、町民の皆さまと共に支え合い、誰もが安心して暮らせる町づくりを進めてまいります。

特に、子どもたちや高齢者、障がいを持つ方々への支援を強化し地域全体での取り組みを推進していきたいと考えています。

地域福祉の充実には、行政・団体・住民の連携と継続的な取り組みが欠かせません。皆様と力を合わせ、より良い街づくりに貢献できますよう努めてまいります。

今後とも、ご指導とご協力をお願い申し上げます。

【土庄町社会福祉協議会役員】

任期 自 令和7年6月10日
至 令和9年6月定時評議員会終了

理事

会 長 (大鐸分会) ◎ 三木 俊明
副会長 (土庄分会) ◎ 森 英樹
副会長 (町議会) ◎ 福本 達雄
北浦分会 長 橋本 忠海
四海分会 長 ◎ 井藤 茂信
豊島分会 長 田村 吉輝
大部分会 長 福本 達雄
町福祉課 長 ◎ 渡辺 志保

監事

学識経験者 久保 博史
町生涯学習課 長 岡本 高志

顧問

県議会 議長 谷久 浩一
土庄町 町長 岡野 能之



【地区分会選出評議員】

任期 自 令和7年6月10日
至 令和11年6月定時評議員会終了

土 庄 藤本 徹
大 崎 田中 明彦
大 鐸 ◎ 川本 公義
北 浦 ◎ 平間 英雄
四 海 川本 充幸
豊 島 ◎ 石井 亨
大 部 西内 和子

【団体選出評議員】

社会福祉施設代表 ◎ 山根 基
ボランティア活動代表 ◎ 松本 幸
小・中学校代表 ◎ 庫本由美子
PTA関係代表 ◎ 池田 憲生
社会奉仕団体代表 ◎ 望月 章司
町民児協会長 ◎ 坂本 登
学識経験者 山下 龍雄
町老連会長 山神 典子
町子ども会参事 岡上 峰康
町身障福祉会長 井上 正清
町婦人会赤穂屋支部長 田中 保久
ひまわり福祉会管理者 ◎ 中塚 範子
◎ 谷久 香里

* ◎印は新役員(敬称略・順不同)

社会福祉法人等活動紹介

笑顔あふれる場所を目指して
就労継続支援A型事業所「あはは」

本年4月1日、小豆島初となる就労継続支援A型事業所「あはは」が土庄町に開所しました。就労継続支援A型事業所とは、一般企業での就労が困難な障がいのある方に、雇用契約を結んで働く場を提供する福祉サービスです。

「あはは」という名前には、利用者の皆さんの笑顔があふれる場所にしたいという思いが込められています。現在多くの利用者が在籍し、DM封入や袋詰め作業、清掃、お弁当の盛り付けなど、一人ひとりの特性や「できること」に合わせた多様な作業に取り組んでいます。

小豆島の豊かな環境の中で、スタッフがいっしょにサポートしながら、利用者の方々が自分のペースで働き、就労に向けたスキルアップを目指しています。経験や障がいの種類を問わず、「やってみたい」という気持ちを大切に、アットホームな雰囲気の中で共に成長し、働く喜びを分かち合える場所として日々活動しています。



土庄町社協はこんな事業をしています

(令和7年度予算)

社会福祉事業区分

心配ごと
相談事業
6万2千円

法人運営事業
1,514万9千円

生計困難者に
対する相談支援事業
11万9千円

予算総額
4,012万8千円

企画・広報
事業
16万8千円

福祉サービス
利用援助事業
491万円

福祉推進
支援事業
71万6千円

ボランティア
活動事業
9万9千円

共同募金
助成金事業
167万6千円

ふれあい
サービス事業
79万1千円

公益事業区分

生活福祉資金
貸付事業
560万円

シルバー
人材センター事業
514万8千円

土庄ふれあい送迎
サービス事業
19万円

チャリティー
事業
58万8千円

法人後見事業
77万7千円

生活困窮者自立
相談支援事業
422万5千円

令和6年度 土庄町社会福祉協議会一般会計決算報告

(単位：円)

	収 入	支 出	次期繰越額
社会福祉事業区分	(1) 法人運営事業	17,331,582	15,287,565
	(2) 企画・広報事業	169,433	160,816
	(3) 心配ごと相談事業	67,692	55,800
	(4) 福祉推進支援事業	735,230	674,663
	(5) ボランティア活動事業	97,284	0
	(6) 共同募金助成金事業	1,856,080	1,856,080
	(7) 福祉サービス利用援助事業	4,415,619	4,188,219
	(8) 生活福祉資金貸付事業	5,597,000	5,597,000
	(9) チャリティー事業	589,287	131,926
	(10) ふれあいサービス事業	932,060	629,865
	(11) 生計困難者に対する相談支援事業	176,928	157,366
公益事業区分	(1) シルバー人材センター事業	4,879,122	4,728,351
	(2) 生活困窮者自立相談支援事業	4,004,094	4,004,094
	(3) 土庄ふれあい送迎サービス事業	130,952	90,539
	(4) 法人後見事業	936,600	925,320
	合 計	41,918,963	38,487,604
			3,431,359



令和7年度共同募金事業報告

赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました。

昨年度10月より皆様よりお寄せいただきました募金を下記のとおり助成いたしました。

(単位：円)

	地区・団体名	事業名	助成金	使途内容
1	土庄地区(大木戸自治会)	水道設備補修事業	200,000	自治会館水道設備
2	淵崎地区(大谷自治会)	ゴミステーション修繕事業	139,000	ゴミステーション
3	大鐸地区(黒岩自治会)	設備対応事業	100,000	LED蛍光灯
4	北浦地区(屋形崎自治会)	備品購入事業	83,000	かんたんテント
5	四海地区(四海分会)	設備対応事業	100,000	IHクッキングヒーター
6	豊島地区(唐櫃自治会)	備品購入事業	100,000	掃除機、オープンレンジ
7	大部地区(田井自治会)	備品整備事業	100,000	座敷椅子
8	土庄町老人クラブ連合会	土庄町老人福祉大会開催事業	70,000	記念品等
9	土庄町老人クラブ連合会	会員増強事業	50,000	印刷費等
10	土庄町身体障害者福祉会	町スポーツ大会事業	10,000	交通費等
11	小豆郡手をつなぐ育成会	会報第49号の発行	30,000	印刷費等
12	土庄保育園	日常生活支援事業	100,000	レインボー平均台
13	土庄町民生委員児童委員協議会	研修事業・福祉施設訪問活動事業	58,000	研修費等
14	土庄町社会福祉協議会	土庄町社会福祉大会開催事業	165,000	記念品等
15	土庄町社会福祉協議会	土庄町社協だより「にじ」発行事業	475,000	印刷費等
16	土庄町社会福祉協議会	老人給食サービス事業	337,000	材料費等
17	土庄町社会福祉協議会	米寿・高齢者慰問事業	346,000	記念品等
18	土庄町社会福祉協議会	しめ飾り・門松全戸配布事業	159,000	印刷費等
19	土庄町社会福祉協議会	相談支援事業	36,000	通信費等
20	土庄町社会福祉協議会	物品貸出事業	157,254	かんたんテント
	合 計		2,815,254	

助成先からのありがとうメッセージ

● 大部地区(田井自治会) 座敷椅子
足腰の筋力が低下してきた高齢者にとって、立ち上がりの不安が軽減され、大変助かっております。
このような共同募金による助成事業は、小規模な集落にとっても非常にありがたく、今後も継続していただけることを願っております。



助成先からのありがとうメッセージ

● 土庄保育園 レインボー平均台
施設で使用している平均台は、長年使用しており、経年劣化のため、木のささくれ等が目立ち、けがのリスクがありました。
今回、購入させていただいた「レインボー平均台」は、ポリエレン性で、がのリスクも少なそうです。早速、幼児たちが「楽しい、おもしろい」と何回も使っていました。



障がい者理解学習に車いすを貸し出し

土庄中学校では毎年「障がい者理解学習」を実施しており、土庄町社会福祉協議会が保有する車いす14台のうち12台を、土庄中学校の体験学習にご活用いただきました。

当日は、社協職員も授業の様子を見学させていただきました。生徒たちは二人一組になり、交代で車いすに乗る役と押す役にわかれ、体育館の中や入り口にあるスロープを走行しながら、車いすの基本的な操作を学んでいました。わずかな段差に苦戦する様子も見られ、生徒たちは、日常生活の中にある段差や小さな障害物が、車いす使用者にとつては大きな困難となることを実感していました。また、車いすを使う方やそのサポートをする方の視点に立ち、登り降りの大変さや移動の際の注意点について、身をもって理解することができたようです。さらに、アイマスクを着用して校内を歩く視覚障がい者の



疑似体験も行われ、生徒たちはさまざまな障がいへの理解と共感を深めていました。

こうした体験を通して、生徒たちにとって、困っている人の立場になって、その視点をもつ大切さを学び、誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて、自分にできることを考える貴重な機会になったのではないかと思います。

なお、土庄町社会福祉協議会では、町民の皆さまを対象に車いすの無料貸出を行っております。通院や外出などで必要な際は、お気軽にお問い合わせください。

第19回 大部地区

ふれあい夏祭り

7月26日(土)、大部グラウンドにて第19回大部地区ふれあい夏祭りが開催されました。

演目には、大部こども園の園児たちの踊りやお菓子投げ大会、ラムネ一気飲みなど子どもたちも楽しめる内容でした。園児たちの力ワイイ姿にも癒されました。今年はお楽しみ抽選会以外にも踊りに参加された方には、くじが配られるお楽しみも増えていました。そのこともあり、多くの方々が踊りに参加していました。

昔使っていた浴衣を大部老人クラブの方々が手直しして着られており、懐かしさを感じることができました。また、その浴衣を使い法被も作ったそうです。

人口が減り高齢化が進む中で、地域で様々な行事を開催することは大変だと思います。継続していく難しさはあると思いますが、来年もこの夏祭りが開催できることを願っています。



あたたかい善意 ありがとうございました

(令和7年2月1日から7月31日まで)

香典返しや、その他あたたかいご寄付ありがとうございました。
本紙をもって厚くお礼申し上げます。

(敬称略、受付順)

本会に対するもの

三万円 吉岡大輔 東之町
十万円 榎小豆島 上庄
互助センター

三万円 中筋 茂 大木戸
三万円 三枝泰生 畠二丁目

土庄分会に対するもの

三万円 中井克幸 土山
三万円 吉岡大輔 東之町
二万円 田中幸子 日進
五万円 三枝泰生 畠二丁目

北浦分会に対するもの

三万円 三宅奈津江 見目
三万円 藤原邦枝 見目
三万円 藤本 修 見目
三万円 石床祐貴 屋形崎

四海分会に対するもの

三万円 山本良一 小江
三万円 室崎幸子 伊喜末
三万円 松本茂寿 伊喜末
三万円 田中俊一 伊喜末
三万円 九富豊彦 小江

豊島分会に対するもの

五万円 田中友明 唐櫃浜
三万円 増子厚子 唐櫃浜
三万円 山田文子 家浦岡

ご寄附ありがとうございました

就任のご挨拶



事務局長 石床 勝則

4月より川井事務局長の後任として着任いたしました。

社協は、ボランティアの方々を始め地域、関係団体や行政の方々など大勢の人たちの温かい気持ちに支えられ事業が成り立っていること、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加、価値観の多様化、生活不安の増大、犯罪や事件の深刻化などを背景に、地域社会のつながりや、地域に対する関心の希薄化が問題になっています。

超高齢社会に突入している土庄町においても、社協が抱える課題は山積んでいます。

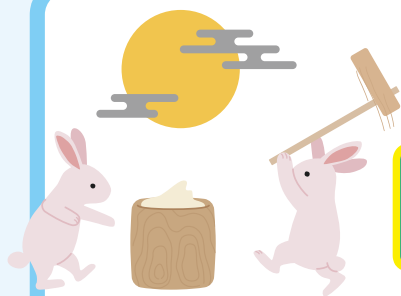
このような中、課題の一つでもある死後事務委任事業を本年度より、新たに始めております。この事業は、対象条件はありますが、家族等に

よる支援が得られない状況でも生前及び死後におけるサービスや支援などが受けられる事業となっていますので、ご相談いただければと思います。

誰でも気軽に相談できる「土庄社協」を目指し取り組んで参りたいと考えております。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



社協職員一同



湊崎荒神さん 「いこいの会」



令和3年12月から浄源坊横の荒神さんでサロンを始めました。歩いて行ける所で気軽に集まれる場所が欲しいとの声があり、自治会協力のもと近所の方ばかりで集まっています。湊崎老人クラブの女性部が中心になってお世話をしていますが、湊崎に住んでいる人ならどなたでも参加していただけます。毎回15人ほどが集まっておしゃべりやゲーム、おやつや歌などを楽しんでいます。

7月は七夕にちなんでみんなで笹飾りを作りました。飾りをつけ思いを込めて短冊に願いごとを書き、色とりどりの笹飾りはセンスが光ります。賑やかに七夕を楽しみました。

家に1人でいると誰かと話をするということもありませんがここに来るとみんなで会話やおやつも楽しめます。季節のイベントを楽しめる良さもあり、みんないきいきとしています。老人クラブでの集まりや、次の催しなどの連絡もここでしています。

最後に般若心経を唱え、心穏やかになって会を閉じます。

《日 時》毎月1日 13:30～15:00

《場 所》荒神さん

《会 費》1回 200円



表紙の紹介

肥土山の虫送り



江戸元禄の時代より引き継がれている、「肥土山の虫送り」。その昔は、中山・肥土山・黒岩・上庄・湊崎の村人が豊作を願い、思いを合わせリレー形式で行っていたそうです。

時は流れ、今は肥土山が民俗文化として守り、引き継いでおります。今年、初めてドローンによる空撮を行いました。時代は移っても先人の思いを引き継ぎ、後世に残して行く事の大切さを感じた、半夏生の日でした。



土庄町社協だより「にじ」の印刷費の一部は共同募金助成金をあてています。